



No.146

2022.6.28

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

## 梅雨の憂鬱を晴らすには

雨の日が続き、検定や考査の勉強に追われ、憂鬱な気分になっていませんか。少し休憩して本を読んでみてはどうでしょう。短編集や雑学豆知識の得られる軽い読み物などで頭をスッキリさせると「よし!」とまたやる気が出て効率が上がるかもしれません。



## 『漫画 サピエンス全史 文明の正体編』

ハラリ、ユヴァル・ノア【原案・脚本】

何種ものヒトのなかで唯一生き延びたホモ・サピエンス。サピエンスが世界各地に築き上げた壮大な文明。その意外な影響とは？ 世界的ベストセラーの公式漫画化。

## 『なぜ地球は人間が住める星になったのか？』

山賀 進【著】

宇宙の進化の中で地球はどのようにして生まれたのか。地球が生命に適した環境になり、多くの生命が栄え、その生命が地球の環境を変えてもきた共進化の歴史を地球科学のアプローチで探る入門書。

## 『気持ち伝わるはじめての手話』谷 千春【監修】

手話コミュニケーションの基本が楽しくわかる。手話を学んでみたい、聴覚障がいのある方の力になりたい、接客に手話を使いたいといった人に向け、よく使う単語や簡単な会話を収録。

『ピーカーくんがゆく！工場・博物館・実験施設—そのこだわりにはワケがある！実験器具たちのふるさと探訪』

うえたに夫婦【著】

実験器具がどのように生まれたのか、各メーカーに取材した製造工程のマンガに加え、気象測器歴史館、科学技術館などの博物館、スーパーカミオカンデなどの巨大実験施設を紹介します。

『難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方』

中村 恵【著】

日本人初・女性初の国連難民高等弁務官として、世界各地の紛争地で難民支援に携わるなど、世界で活躍した「真の国際人」緒方貞子の生涯をたどり、その源となる強みを知る。



『推理大戦』

似鳥 鶏【著】

世界中が欲する「聖遺物」が日本に。アメリカ、ウクライナ、日本、ブラジル—。各国の聖なる権威によって、「特殊能力」をもつ異能の「名探偵」たちが、神の名のもとに、選抜された。

『同じクラスに何かの主人公がいる』

昆布山葵【著】

同じクラスの神宮寺は、何かの主人公らしい。授業中に突然「なっ?!このエネルギーは…?!」と叫んで教室を飛び出し、次の日は包帯ぐるぐる巻き。たぶん世界の平和か何かを守ってるんだろうけど…。

## 『さばの缶づめ、宇宙へいく』

—鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』

小坂 康之/林 公代【著】

「宇宙食、つくれるんちゃう？」はじまりは生徒の一言だった。「鯖街道を国際宇宙ステーションへ！」高校生が作った地域の名産「よっぱらいサバ」の缶づめが、宇宙へ旅立った！

## 『ほんとうにすごい仏像図鑑』

—不思議・神秘の謎を解き明かす！』 長谷 法寿【監修】

仏像は「ほとけ」の姿を表したものとされていますが、歴代の天皇、貴族、地方官僚、武士たちが願いを叶えるべく、財力をもって贅を尽くして制作していたもの。一般には知り得ない事実を徹底紹介。

## 【その他の新着図書】

メタバースとは何か —ネット上の「もう一つの世界」	岡嶋 裕史	情報 科学
マスカレード・ゲーム	東野 圭吾	文学
黄金列車	佐藤 亜紀	文学
剣持麗子のワンナイト推理	新川 帆立	文学
世界のサラダ図鑑	佐藤 政人	料理
クジラの骨と僕らの未来	中村 玄	動物学
夜が明ける	西 加奈子	文学
外国人労働相談最前線	今野 晴貴	社会
「障害」ある人の「きょうだい」としての私	藤木 和子	社会 福祉
図解 まるわかり時事用語 〈2022→2023年版〉	ニュース・リテ ラシー研究所	言語
食べる経済学	下川 哲	産業
暗記しないで化学入門—電子を見れば化学はわかる	平山 令明	化学
東京五輪の大罪—政府・電通・メディア・IOC	本間 龍	スポー ツ
世界史の考え方	小川 幸司	歴史
「人それぞれ」がさみしい —「やさしく・冷たい」人間関係を考える	石田 光規	社会
デジタル社会の地図の読み方作り方	若林 芳樹	地図学
人生はゲームなのだろうか？ —〈答えのなさそうな問題〉に答える哲学	平尾 昌宏	哲学
建築家になりたい君へ	隈 研吾	建築
介護福祉士になるには	渡辺 裕美	福祉
ミッドナイト・ライブラリー	ハイグ、マット	文学

「感動ポルノ」と向き合う —障害者像にひそむ差別と排除	好井 裕明	社会
救命センター カンファレンス・ノート	浜辺 祐一	医学
真夜中乙女戦争	F	文学
かぎ針で編むモチーフ106	朝日新聞出版	手芸
ぬいぐるみぼんぼん	trikotri	手芸
戦争は女の顔をしていない	スヴェトラナ	文学
ビブリア古書堂の事件手帖〈3〉	三上 延	文学
学園キノ〈7〉	時雨沢 恵一	文学
精霊幻想記〈21〉竜の眷属	北山 結莉	文学

## ぶらり選書 2学年 小林先生

タイトル 『世界史とつなげて学べ超日本史』

茂木 誠 著(KADOKAWA)

みなさんは「あなたはどこから来たのですか？」と問われたら何と答えますか？

神戸市？垂水区？いいえ。ここで問われているのは「日本人のルーツは一体どこなのですか？」ということです。あなたは答えられますか？「僕は縄文系です。」「私は弥生系です。」という具合に、縄文弥生論争が今でも繰り広げられています。

日本人はどこから来たのか、という印象的な問いかけから始まる本書は、世界史的視点から日本史を記述するという方法で展開されていきます。縄文弥生論争においては、DNA分析の結果から、石器時代に北方から日本に渡ってきた人々が縄文文化を作り、そこに弥生人が移民として徐々に浸透していったと結論づけています。

このように、教科書に載っている歴史だけではなく、周辺の国とのかかわりの中から日本史を見直すと、新しい日本像が見えてきます。日本という国がどうやって成立し、また、周辺の諸外国との関係で日本の方向性がどう変わったのかを、本書を通じて読み取ることができると思います。教科書だけの学びでは、「あなたはどこから来たのですか？」という問いに答えることはできないでしょう。この本を読んで日本史の教養を深めてみては？普通の日本史に飽きている人、これから日本史を学ぶ人のどちらにもオススメです。